

【Windows】 備忘録

コントロールパネル

■注意

- ▶ ※ Windows PCを管理する場合、コントロールパネルを操作するケースが少なからずあるが、Windows 10では管理機能の多くが従来のコントロールパネルから「設定」アプリに移されており、その量はかなり少ない。

設定

■基本

- ▶ ☆ 環境変数の設定
- ▶ ※ 何かのプログラムを実行するためにWindowsの環境変数を変更したくない場合、`.env`の仕組みが有用。

■応用

- ▶ ☆ 右下の時計を非表示にする

タスクマネージャ

■応用

- ▶ ☆ Hyper-V (Windowsの仮想化ソフト) が無効か有効かを**確認**する

タスクスケジューラ

■応用

- ▶ ☆ VBSファイルを実行
- ▶ ☆ バッチファイルを実行
- ▶ ☆ Pythonファイルを実行
- ▶ ☆ メールを送信

【Windows】 備忘録

コントロールパネル

■注意

- ▶ ※ Windows PCを管理する場合、コントロールパネルを操作するケースが少なからずあるが、Windows 10では管理機能の多くが従来のコントロールパネルから「設定」アプリに移されており、その量はかなり少ない。

設定

■基本

- ▶ ☆ 環境変数の設定
- ▶ ※ 何かのプログラムを実行するためにWindowsの環境変数を変更したくない場合、`.env`の仕組みが有用。

■応用

- ▶ ☆ 右下の時計を非表示にする

タスクマネージャ

■応用

- ▶ ☆ Hyper-V (Windowsの仮想化ソフト) が無効か有効かを**確認**する

タスクスケジューラ

■応用

- ▶ ☆ VBSファイルを実行
- ▶ ☆ バッチファイルを実行
- ▶ ☆ Pythonファイルを実行
- ▶ ☆ メールを送信

コマンドプロンプト

■パスについて

- ▶ ログイン中のホームディレクトリ `~`
- ▶ ※ スペースを含むパスの場合 `" "` で囲む必要がある。
- ▶ ※ 区切り文字は `\` にしよう！

■基本

基本操作

- ▶ カレントディレクトリを表示 `cd`
- ▶ 他のディレクトリに移る `cd dirPath`
- ▶ 出力 `echo 式`
- ▶ 長いコマンドで改行したい `^` を入力後 Enter キーで改行可能
- ▶ 複数のコマンドを実行 `command1 & command2 & ...`

ファイル実行

- ▶ コマンドのファインディング場所 `$ where commandName`
- ▶ 規定のアプリでファインディング `$ start filePath`
- ▶ ほかのアプリでファインディング `$ applicationFilePath filePath`

ファイル・ディレクトリ操作

- ▶ ディレクトリの中身を確認 `$ dir dirPath`
- ▶ ファイルを新規作成 `$ type null > filePath`
- ▶ ディレクトリを新規作成 `$ mkdir dirPath ※ DirPath の最後 \ つけるな`

サーバにSSH接続

- ▶ サーバに接続 `$ ssh -l serverUser serverIPAdress`
- ▶ ログアウト (サーバと切断) `exit` か `{Ctrl} + {D}`

サーバとのファイルの授受 (SFTP)

- ▶ SFTPを起動 `$ sftp serverUser@serverIPAdress`
- ▶ ファイルのダウンロード `get filePath※ ※相手サーバ上のパス`
- ▶ ファイルのアップロード `put filePath※ ※自身のWindows上のパス`
- ▶ SFTPを終了 `exit` か `{Ctrl} + {C}`

コマンドプロンプト

■パスについて

- ▶ ログイン中のホームディレクトリ `~`
- ▶ ※ スペースを含むパスの場合 `" "` で囲む必要がある。
- ▶ ※ 区切り文字は `\` にしよう！

■基本

基本操作

- ▶ カレントディレクトリを表示 `cd` か `$ chdir` ※ `@` を先頭につけても同じ
- ▶ 他のディレクトリに移る `$ cd dirPath` か `$ chdir dirPath`
- ▶ 出力 `$ echo 式` ※ 式は空文字やスペースだとダメ
- ▶ 長いコマンドで改行したい `^` を入力後 Enter キーで改行可能
- ▶ 複数のコマンドを実行 `$ command1 & command2 & ...`

ファイル実行

- ▶ コマンドのファインディング場所 `$ where commandName`
- ▶ 規定のアプリでファインディング `$ start filePath`
- ▶ ほかのアプリでファインディング `$ applicationFilePath filePath`

ファイル・ディレクトリ操作

- ▶ ディレクトリの中身を確認 `$ dir dirPath`
- ▶ ファイルを新規作成 `$ type null > filePath`
- ▶ ディレクトリを新規作成 `$ mkdir dirPath ※ DirPath の最後 \ つけるな`

サーバにSSH接続

- ▶ サーバに接続 `$ ssh -l serverUser serverIPAdress`
- ▶ ログアウト (サーバと切断) `exit` か `{Ctrl} + {D}`

サーバとのファイルの授受 (SFTP)

- ▶ SFTPを起動 `$ sftp serverUser@serverIPAdress`
- ▶ ファイルのダウンロード `get filePath※ ※相手サーバ上のパス`
- ▶ ファイルのアップロード `put filePath※ ※自身のWindows上のパス`
- ▶ SFTPを終了 `exit` か `{Ctrl} + {C}`

システム

- ▶ 環境変数の値を出力
- ▶ PC自身のIPアドレスを確認
- ▶ 起動中のタスクを確認
- ▶ 起動中のタスクを終了

その他

- ▶ 公開鍵／秘密鍵のペアを作る

■困ったときは

- ▶ ※ カーソルが消えたときは、日本語入力を何度か切り替えれば大丈夫！

■応用

- ▶ ☆ M3U8形式の動画ファイルをダウンロード
- ▶ ☆ Hyper-V (Windowsの仮想化ソフト) を無効／有効に切り替える

PowerShell

■パスについて

- ▶ ログイン中のホームディ

■基本

基本操作

- ▶ カレントディを表示
- ▶ 他のディに移る
- ▶ 出力

ファイル・ディレクトリ操作

- ▶ ディの中身を確認

サーバにSSH接続

- ▶ サーバに接続
- ▶ ログアウト (サーバと切断)

サーバとのファイルの授受 (SFTP)

システム

- ▶ 環境変数の値を出力 `$ echo %環境変数名%`
- ▶ PC自身のIPアドレスを確認 `$ ipconfig`
- ▶ 起動中のタスクを確認 `$ tasklist`
- ▶ 起動中のタスクを終了 `$ taskkill /PID processID1 /PID processID2 ...`

その他

- ▶ 公開鍵／秘密鍵のペアを作る `ssh-keygen -t 暗号化方式 -b ビット数 -C "コメント"`

■困ったときは

- ▶ ※ カーソルが消えたときは、日本語入力を何度か切り替えれば大丈夫！

■応用

- ▶ ☆ M3U8形式の動画ファイルをダウンロード
- ▶ ☆ Hyper-V (Windowsの仮想化ソフト) を無効／有効に切り替える

PowerShell

■パスについて

- ▶ ログイン中のホームディ ~

■基本

基本操作

- ▶ カレントディを表示 `$ pwd`
- ▶ 他のディに移る `$ cd dirPath` か `$ chdir dirPath`
- ▶ 出力 `$ echo 式` ※ 式は空文字やスペースだとダメ

ファイル・ディレクトリ操作

- ▶ ディの中身を確認 `$ dir dirPath` か `$ ls dirPath`

サーバにSSH接続

- ▶ サーバに接続 `$ ssh -l serverUser serverIPAdress`
- ▶ ログアウト (サーバと切断) `exit` か `{Ctrl} + {D}`

サーバとのファイルの授受 (SFTP)

- ▶ SFTPを起動
- ▶ ファイルのダウンロード
- ▶ ファイルのアップロード
- ▶ SFTPを終了

その他

- ▶ 公開鍵／秘密鍵のペアを作る

- ▶ SFTPを起動 `$ sftp serverUser@serverIPAddress` の後パスワード入力
- ▶ ファイルのダウンロード `get filePath※` ※相手サーバ上のパス
- ▶ ファイルのアップロード `put filePath※` ※自身のWindows上のパス
- ▶ SFTPを終了 `exit` か `{Ctrl} + {C}`

その他

- ▶ 公開鍵／秘密鍵のペアを作る `ssh-keygen -t 暗号化方式 -b ビット数 -C "コメント"`

その他のアプリケーション

■WSL

- ▶ WSLとは
- ▶ ☆ WSL2を手動でインストール
- ▶ WSLのバージョンを確認

その他のアプリケーション

■WSL

- ▶ WSLとは Windows上でLinuxを動作させるための実行環境
- ▶ ☆ WSL2を手動でインストール
- ▶ WSLのバージョンを確認 `$ wsl -l -v`

ショートカットキー

■ショートカットキー

- ▶ すべてのウィンドウを最小化
- ▶ ウィンドウを切り替える
- ▶ スクリーンショット

ショートカットキー

■ショートカットキー

- ▶ すべてのウィンドウを最小化 `{Win} + {D}`
- ▶ ウィンドウを切り替える `{Alt} + {Tab}`
- ▶ スクリーンショット `{Shift} + {Win} + {S}`